

感染対策を振り返る

～感染管理認定看護師との出会いからの学び～

特別養護老人ホーム ずいせん長寿村

感染対策委員会

看護課 神谷公美恵

2024.7.31

特別養護老人ホーム ずいせん長寿村



社会福祉法人 瑞泉
349-0213 埼玉県白岡市高岩1051-1
JR新白岡駅より徒歩10分

開業 平成28年4月1日

定員 100名（個室）10ユニット
1F 40部屋 2F 60部屋
（男性2割 女性8割）

平均介護度 3.8

入居者平均年齢 87.5歳

職員 事務5名 介護50名
介護補助2名 清掃
厨房 看護8名 他
合計 70名

本日の内容

- I. 当施設のクラスターについて
- II. 感染管理認定看護師によるラウンドを経験して
指導前後で変わった事（変えた事）
- III. 日頃の介護職員への感染対策の取り組み
勉強会の様子や工夫している事
- IV. まとめ

I-1. 自施設のクラスターについて

コロナ感染の始まりの時は

国内で初めての感染者が確認されたと発表があったのは
2020年1月16日でした。 その時の

私たちは

- 感染者が確認されてもなお対岸の火事の様に他人事だった
- なんとなくマスク不足の心配をしていた

I-2. ずいせん長寿村感染者発症人数

		コロナ		インフル		第1感染者 発症日	最終感染者 発症日	感染による 入院
		職員	入居者	職員	入居者			
2022	8月	6	5	0	0	8月1日	8月11日	入院不可
	9月	1	0	0	0	9月19日		
	11月	1	0	0	0			
	12月	5	4	0	0	12月25日	12月30日	0
2023	1月	4	3	0	0	1月2日	1月11日	0
	5月	2	4	0	0	5月22日	5月28日	0
	7月	1	0	0	0			
	8月	3	0	0	0			
	9月	2	0	0	0			
	10月	9	11	0	0	10月14日	10月26日	1
	11月	8	15	0	0	11月12日	11月18日	5
2024	1月	0	0	3	3	1月6日	1月12日	0
	2月	2	0	0	0			
	3月	1	0	1	0			
	4月	2	0	0	0			
	5月	2	0	0	0			
	6月	1	0	0	0			
	合計	50	42	4	3			

I-3.当施設でコロナ感染陽性者が出た経緯と課題

●1回目クラスター： 2022年8月に職員のコロナ抗原陽性が発覚
引き続き、入居者5名と職員5名の陽性者が発生した

- 4回目のコロナワクチン接種直後で副反応の熱と思い込み
→ コロナ抗原検査の遅れ
- クラスター発生までの2年半の間の感染対策勉強会（2回/年）
→ 実際に生かせなかった
- 突然の初コロナのクラスターに舞い上がり
不安に押しつぶされながら、汗だくで右往左往していた
- 結果、表のように入居者5名職員6名の感染が発生

I-3.当施設でコロナ感染陽性者が出た経緯と課題

●2回目のクラスター：2022年12月職員5名 入居者4名

- ・クリスマスから年末にかけて、人手の少なくなる時期

●3回～4回目のクラスター：2023年1月 職員4名 入居者3名 5月 職員2名 入居者4名

●課題

- ・情報共有や各部署連携
- ・応援スタッフの確保
- ・準備や指示命令系統
- ・个人防护具は着脱が面倒で暑い
- ・増え続ける个人防护具の購入費用

Ⅱ.感染管理認定看護師によるラウンドを 経験して指導前後で変わった事（変えた事）

- 実際にクラスターが起きていたユニットと一緒にラウンド
- 衣食住を中心とした安全なケアについて質疑応答と的確な指示
- 最新の情報や知識に驚愕
- コロナに対して3年間植え付けられていた恐怖、考え方、視点の意識改革を大胆にスタート

Ⅱ-1.感染管理認定看護師による現場指導と改善

① 感染者隔離の定義の変更

<指導前>

- ・発症日を0日として10日目まで
- ・健常入居者も含めユニット全員の個室対応とユニット閉鎖

<指導後>

- ・症状の消失した軽症の感染者については6日目の朝に居室隔離、ユニット閉鎖を解除
- ・認知症の特性を考慮し、微熱、咳などの症状がある感染者は
症状が消失するまで、または10日目まで居室隔離
- ・感染者が居室に完全隔離になって3日経過の後、
健常な入居者のユニット内行動制限（居室対応）を解除
- ・感染した職員が2つのユニットをまたいで仕事をしていた場合や、非感染スタッフが感染ユニットとそうでないユニットを掛け持ちして見ていた場合も居室対応
※丸3日経過の後、異常が無ければ居室対応を解除

<良かったこと>

- ・認知症の入居者のストレスと不穏の軽減
- ・非感染入居者が自由にフロアーに出てくることにより、入居者の様子が観察しやすい
介護士の精神的負担が軽減

Ⅱ-1.感染管理認定看護師による現場指導と改善

② 個人防護具

<指導前>

- ・ 隔離期間に感染部屋に一步でも立ち入る時は個人防護具を全て着用

<指導後>

- ・ 体液や咳による飛沫を浴びる危険が無い時はマスクのみでも入室OK
- ・ ただし、咳や痰等の症状が続いている場合の食事介助や排泄介助時は5日間を過ぎてもマスク、ゴーグル（フェイスシールド）、手袋、エプロンを着用しケアの内容によって、必要な防護具を選ぶ

<工夫>

- ・ 判断が苦手なスタッフのために、排泄介助、食事介助の入室時は防護具着用と一目で分かるようにエプロンのイラスト等のステッカーを作成し感染者の居室のドアに目線の高さで小さく掲示 ※図1

図1 ステッカー



図2 換気貼り紙



Ⅱ-1.感染管理認定看護師による現場指導と改善

③ ゾーニング

<指導前>

- ・居室以外 グリーンゾーン
- ・居室の中 レッドゾーンとイエローゾーン

<指導後>

- ・感染者の居室が隣り合っている場合には、**居室の外にパーテーションを置き
イエローゾーンを作った**

<良かったこと>

- ・防護具を着たまま移動し着脱の手間なく次の感染者のケアを行う事ができた
- ・ゾーニングを見直して个人防护具の着脱の回数が減った
防護具のままグリーンゾーンをウロウロすることも無くなった
着脱に要する手間や時間や危険性が減り体力的にも楽になった

Ⅱ-1.感染管理認定看護師による現場指導と改善

④ 消毒と換気

<指導前>

- ・アクリル板で飛沫対策
- ・有効な換気とは言い難い換気の実施

<指導後>

- ・食事前の入居者の手洗いや手指消毒（アルコール）の徹底
- ・効果的な換気を**習慣化**
- ・換気が有効な窓などに「換気」シールを貼り施設全体の換気を積極的に行う ※図2
- ・食卓の上に設置した大きな**アクリル板を撤去し** 換気を優先した

<良かった事>

- ・認定看護師より「**換気**」「**手指消毒や手洗い**」「**消毒を含む清掃**」について**重要**と説明があり、施設の感染対策の方向性が合っていたと安堵した
- ・5類になっても継続したい感染対策のポイントを再確認できた

Ⅱ-1.感染管理認定看護師による現場指導と改善

⑤ 食事

<指導前>

- ・感染ユニットへは紙皿や使い捨ての食器で提供
- ・食事前：利用者の手指消毒やテーブルの消毒
- ・感染者・濃厚接触者が発生→食堂で召し上がっている食事を居室対応へ

<指導後>

- ・居室対応が難しい入居者は換気に留意し2m以上の間隔をとる
- ・テーブルを挟んで座る時は真正面にならない座席の工夫
- ・感染者の食事介助、口腔ケア時はゴーグル（フェイスシールド）、エプロン、マスク、ビニール手袋を着用
- ・使い捨て食器を中止

<良かった事>

- ・厨房管理の食器をユニットで管理し、紙皿を廃止して通常の食器で提供できた

Ⅱ-1.管理認定看護師による現場指導と改善

⑥ ゴミ

<指導前>

- ・生ごみやオムツゴミ等の感染ゴミは、居室からそのままバルコニーや屋外に出し
3日間放置後、事務職員が毎日日付を確認し回収
市の環境センターヘトラック（レンタカー）で持ち込み廃棄

<指導後>

- ・**ゴミを介しての再感染はない**と認定看護師よりアドバイスがあり
残飯も燃えるゴミも**通常通りの処分方法**へ

<良かった事>

- ・主にゴミの処分は事務所職員が行っていたので業務縮小につながった
- ・レンタカー代、ゴミ処分費用のコストカットができた
- ・屋外に多量のゴミ袋がなくなり景観を改善できた

Ⅱ-1.管理認定看護師による現場指導と改善

⑦ 入浴

<現行>

- ・週2回の入浴については、感染者発生ユニット内では清拭対応
- ・入浴できるようになってもスタッフが浴室やユニットをまたぎ交差していた

<改善>

- ・感染ユニットであってもそのユニット内で完結するのであれば
症状の無い非感染者の入浴を可能とした
ただし、機械浴等の入浴は不可のため清拭
※濃厚接触者の入浴介助はマスク、ゴーグル等の防護具を着用
- ・感染ユニットのスタッフがそのユニットの浴室で入浴介助

<良かった事>

- ・入居者の不満も減り、週1回の清拭、週1回の清拭が落ち着いて行えた

Ⅱ-1.管理認定看護師による現場指導と改善

⑧ 排泄

<指導前>

- ・ 1か所を感染者専用トイレにするまたはポータブルトイレを居室内に設置
- ・ 他の利用者がいつものトイレを使えず混乱した
- ・ ポータブルトイレでは不安定で介助しにくく転倒のリスク大
- ・ 排泄物による汚染した衣類を72時間居室に置いていた

<指導後>

- ・ 専用トイレの確保が難しい時は、「使用後にアルコール消毒」とアドバイスあり実施
- ・ 咳嗽・大声で飛沫が飛ぶ可能性のある感染者のトイレ介助は个人防护具の着用を徹底
- ・ 排泄物による汚染した衣類はバケツや洗濯機に持ち込むまで自分や周囲を汚染しないように注意を払い感染リスクを最小限にして、通常通り洗濯

<良かったこと>

- ・ 入居者のストレスや転倒リスクの軽減、居室の清潔保持

Ⅱ-2. 家族対応・医療・行政報告

①家族への電話連絡

- ・陽性になった利用者様の家族へはすぐに連絡
- ・その後5日間毎日体調の報告を行う
- ・陽性者が発生したユニットの利用者家族にも即、電話連絡を行い、面会の中止を伝える

②医療

- ・感染陽性者や体調不良者については、囑託医、薬剤師とこまめな連絡を取り合う
- ・早期の抗ウイルス薬の処方、酸素圧縮機の導入、受診相談を必要時行う

③行政報告

- ・陽性者発生時に東部福祉事務所への報告
- ・9時と14時に検温を行い幸手保健所へ毎日報告と連絡を密に行う

感染管理認定看護師との縁につながった



Ⅲ-1. 日頃の介護職員への感染対策の取り組み 勉強会の様子や工夫している事

- コロナ感染以前より年2回の職員勉強会開催
- 感染対策委員会を多職種で毎月開催
- コロナ以前は、夏は食中毒対策、冬はノロ対策を主に行う。※P.P参照（Ⅲ-2）
- コロナ禍では、基本的な個人防護具の着脱の仕方を繰り返し行う。
- 各クラスターの振り返りをしながら非常時の対策について情報共有を行う
 - ・講義
 - ・ブラックライトを使った手洗いの練習
 - ・実際のPPEを本番通りの着脱練習
 - ・吐物処理のロールプレイング
 - ・スタッフが体験談を集合型勉強会で発表→情報共有
 - ・全員参加が望ましい内容は全体会ではなく各ユニット単位で担当の看護師が実施
 - ・研修内容は、その時々的情勢にあった内容
 - ・「ここが分からない」に答えられるような研修を目指している

Ⅲ-2. 研修内容

日付 研 修 内 容

- 2019.7 手洗い研修（ブラックライトを利用）
- 2019.1 冬季に多い感染症「インフルエンザ・ノロウイルスについて」
- 2020.4 感染症対策「**新型コロナ感染症対策**」
- 2020.6 感染症防止「ノロ対策～迅速な吐物処理の方法～」
- 2021.6 **適切な個人防護具の着脱について**
- 2022.1 ノロ対応（吐物処理）、ガウンテクニック
- 2022.5 新型コロナウイルス感染症対策について～**ずいせん長寿村の取り組みについて**～
- 2022.11 **2022.8月コロナクラスター感染の振り返りと今後の対策**
- 2023.5 **防護具の着脱について**（実際に全員で着脱を行う）
- 2023.11 **コロナ・インフルエンザの発生時の対応について**
- 2024.5 **感染者（主にコロナ）発生時の初動体制について**

感染症対策 勉強会の様子



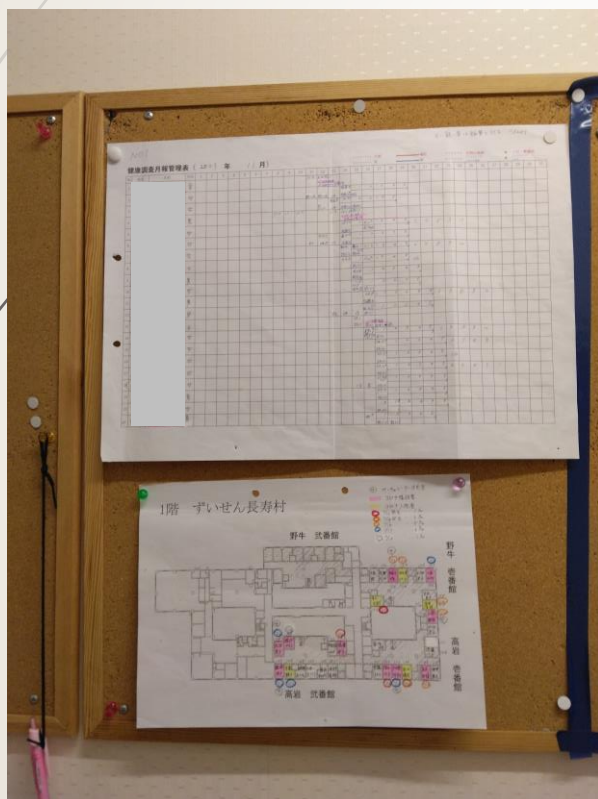
Ⅳー1 まとめ

新型コロナウイルス感染症に翻弄された4年間を振り返る

- コロナへの恐怖心→過剰な感染対策の見直しが出来た
- 感染対策の工程を少なくし、必要最低限で取り組む→感染リスク低下へ
- 「自分が入居者へ感染させてしまう」かもしれない状況で、心身ともに疲弊
- 認定看護師の介入により**根拠ある感染対策**に取り組むことで無駄な対策の見直し
- スタッフに対して、感染対策の方針説明を丁寧に行い訴えや**指摘に耳を傾けた**
- 感染対策の中で一番の課題は**情報共有**（職員の不安を取り除く）
- 日々変わる感染対策の内容をスタッフに伝えるために日付入りの文書を配布
- 指導頂いた内容をもとに**初動体制**について、マニュアルを作成し研修会で周知

情報共有の為に・・・

職員専用掲示板に現況をいち早く表示

[illegible]

Ⅳー2.まとめ

新型コロナウイルス感染症に翻弄された4年間を振り返る

■ユニットスタッフが**孤独にならないように**、看護職員、事務職員など多職種でフォローしながら感染対策を行った

■**多職種全員で**乗り切る

実際に感染者の直接的な対応を行うユニットスタッフや看護スタッフ
ヘルプ要員で、手薄になってしまった他のユニットのスタッフ
日々必要となる感染物品の買い出し、発注、補充を行った事務所スタッフ
家族連絡や受診調整を行った相談員
など、全スタッフが一丸となって毎回乗り切ってきた

終わりに

結果的に、認定看護師介入後もクラスターが2回あったが
不思議と焦る事はなく冷静に対応できていた
今後も粛々と、必要最小限の**根拠ある対策と情報共有の大切さ**を
考慮し、日々、対策を見直しながら実践したい

幸手保健所様、感染管理認定看護師様 他
行政の皆様にご指導いただき感謝申し上げます

ご清聴ありがとうございました



ご清聴
ありがとう
ございました

